

8月市長定例記者会見

全国植樹祭へ向け庁内プロジェクト設置



全国植樹祭が行われる県立北欧の杜公園

市長定例記者会見が8月2日、市役所本庁舎大議室で行われました。

イオンタウンたかのす来秋開店

はじめに、昨日1日にあけぼの町地内に大型店の建設を計画しているイオングループのマックスバリュ東北の関係者と面会したことに触れ、「県北部では最大の店舗となる「イオントウンたかのす」が来秋に開店する予定で、国道7号線のジョイス、あけぼの町地内の伊徳とあわせ、消費者流出の歯止めになると思う」と述べました。

チャレンジショップ5日オープン

中心市街地活性化対策について「商店街の空洞化がさらに進むことが懸念されるなか、商工会青年部が旧秋北バス営業所に5つの店舗を設け5日オーブンすることになった。チャレンジショップは着物リサイクル、雑貨の1店舗で3店舗が決定し、残り2店舗は飲食ブースとして進めていく」とし、市として場所の提供や観光案内機能と全面的に支援を行うと述べました。

庁内プロジェクト設置

平成20年に天皇皇后両陛下をお迎えし、県立北欧の杜公園で開催される第59回全国植樹祭について「天皇皇后両陛下によるお手植え・お手焼きや1万人以上的一般参加者による植樹・記念行事などが行われる一大行事であることから、9月下旬に設立予定の市実行委員会に向け、市独自の振興策などを含めた具体的な推進内容を検討する庁内プロジェクトを8月下旬に設置する予定」と開催地として必要な事業を実施することを明らかにしました。

旅行エージェントモニターツアー

観光PR事業については、「今月8日から10日の日程で、5社から5名が北秋田市や小坂町などを訪れ、内陸線から立又渓谷、打当温泉、野生鳥獣センター、桃洞の滝、森吉山荘、大太鼓の館などを視察する首都圏の旅行エージェントのモニターツアーが行われる予定」と述べました。

市長日誌

7/16
7/31

31日	29日	28/27日	26日	24日	23/22日	20日	19日	18日	16日(日)
(月)	(土)	(金)	(水)	(木)	(土)	(木)	(水)	(火)	(日)
北秋田市周辺衛生施設組合議会に出席	秋田内陸線再生支援協議会に出席	秋田市内陸線再開会式に出席	北秋田市防犯協会総会に出席	北秋田市周辺衛生施設組合正副管理者会議に出席	阿仁集落農組立上げ推進集会に出席	北秋田市納稅貯蓄組合連合会総会に出席	秋田内陸線貫鉄道を守る会設立総会に出席	北秋田市民病院(仮称)にかかる用務のため秋田附属病院を訪問	第2回北秋田市グラウンド・ゴルフ大会市長杯開会式に出席
「琴丘能代路」開通式及び終了後の意見交換会に出席	北秋田市周辺衛生施設組合議会(7月定例会)に出席	北秋田市周辺衛生施設組合議会に出席	北秋田市内陸線再開会式に出席	北秋田市周辺衛生施設組合正副管理者会議に出席	阿仁集落農組立上げ推進集会に出席	北秋田市納稅貯蓄組合連合会総会に出席	秋田内陸線貫鉄道を守る会設立総会に出席	北秋田市民病院(仮称)にかかる用務のため秋田附属病院を訪問	第2回北秋田市グラウンド・ゴルフ大会市長杯開会式に出席
中学校高学年及び高校生を対象としたスキンダンピング講習会に講師として参加(7月31日)									



地元自治会と協働で階段を設置

神成で住民参加による「ふれあいの川づくり」が行われ、自治会・県・市が協力し合つて約50人が参加し、阿仁川堤防左岸に階段三箇所と湧き水の水汲み場一ヵ所を約5時間かけて設置しました。

阿仁川の堤防は数年前に、県が整備しましたが、階段がなかったことから、今まで同様に川に親しめるよう当時から要望していたもので、県ではこの要望を踏まえ今回「協働」での実現となりました。

作業では県が間伐木などの資材提供と、技術協力をを行い、神成自治会が労力を提供し作業を実施。作業後は意見交換会が行われ、安全部等について話しあわれました。

ふれあいの川づくり

北秋田市神成自治会と県が実施



運動会で交流深める

阿仁老人クラブ大運動会

阿仁老人クラブ連合会大運動会が7月24日、阿仁市民体育館で開かれ、地区の老人クラブ会員207名が参加して元気な声援と歓声が館内いっぱいに響き渡りました。

参加者を代表して松森クラブの上杉祐造さんの選手宣誓後、ストレッチ体操で充分身体をほぐし、さっそく殿様リレーなどゲームや競技に挑戦し、自分のペースでゆっくり競技する人や軽快な身のこなしで競技を楽しむ人など様々でした。

また、応援にかけつけた阿仁合保育園の園児によるお遊戯「ほっかほっか音頭」を踊る可愛い姿に目を細めていました。

この道場は、子供たちに坐禅を体験させることで色々な行事を取り入れて交流を深めることを目的に23年前から行われています。普段はお寺の本堂に足を踏み入れる事が少ない子供たちも緊張しながら佐々木賢龍住職から「般若心経」の意味や坐禅の作法の指導を受け、坐禅に挑戦し、有意義な体験が出来たようです。

阿仁地区のボランティアグループKAVAと曹洞宗秋田県宗務所第十教区共催のわんぱく道場・第23回こども坐禅会が7月26日、27日の2日間、小学校1年から6年までの子供たちを対象に22人が参加して阿仁幸屋の耕田寺で行われました。



緊張した面持ちで座禅をする子どもたち

人を思いやる心を養う

わんぱく道場・第23回子供座禅会

阿仁地区のボランティアグループKAVAと曹洞宗秋田県宗務所第十教区共催のわんぱく道場・第23回こども坐禅会が7月26日、27日の2日間、小学校1年から6年までの子供たちを対象に22人が参加して阿仁幸屋の耕田寺で行われました。